

2月24日、3月定例会市議会(会期は3月20日まで)が開かれ、朝長市長が令和5年度の施政方針や当初予算案などの提案理由を説明しました。市長就任からこれまでの4期16年を振り返るとともに、第7次総合計画の前期計画の総仕上げとする取り組みの概要を抜粋、要約してお知らせします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



施政方針



当初予算

令和5年度 施政方針・当初予算

# 新時代に対応したまちづくりへの道筋

施政方針(抜粋・要約)

平成19年4月に市長に就任して以来、4期16年にわたって大切にしてきた政治信条は、「市民が主役である」という「市民第一主義」と、「チャレンジ」「チェンジ」「コミュニケーション」の頭文字をとった「3C」です。できる限り市民の皆さまとの対話・意思疎通を図りながら、守るべきは守り、変えるべきものはちゅうちょなく変えていく、変化を恐れない「チャレンジし続ける姿勢」を大切に、市政運営に努めてまいりました。

この2つの政治信条を基調とし、「市民生活を守る」「地域経済を活性化させる」を市政運営の基本姿勢として各種取り組みを進めてまいりました。また、8つのリーディングプロジェクトや地方創生の取り組みなどへ優先的に財源を配分することで「地域経済の活性化」、ひいては税収の増を図りました。さらに、事務事業の見直しや業務改善など、行政内部の改革改善によって生み出した財源を市民生活に還元するという好循環、いわゆる「行政経営戦略サイクル」の推進を図ってまいりました。

この戦略サイクルの推進に際しては、地方創生の観点から4つの柱「しごとづくり」「ひとづくり」「まちづくり」「くらしづくり」における各種取り組みと、その取り組みを下支えし、行政活動の効用を最大化することを目的とした「行政経営」にも注力してきたところです。

## しごと 活力あふれる国際都市

「企業立地・新工業団地整備」として、工業団地の整備・分譲や企業の誘致などを行い、市長に就任して以来、17社の企業が本市に進出し、約4,000人の新

たな雇用の場が創出されました。

観光産業では、「黒島の集落」が世界文化遺産に登録、「鎮守府」「三川内焼」が日本遺産として認定を受け、九十九島が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されるなどブランド化を進め、魅力度の向上につなげてまいりました。また、「ハウステンボス」の再生支援に心血を注ぎ、その再生支援と経営努力の結果、無事再生を果たされたことは非常に感慨深いものがあります。

さらに、地方創生の起爆剤として多様な雇用の創出や定住人口の増加などを目指した「特定複合観光施設(IR)誘致」ではIRが区域認定されれば、さらなる今後の飛躍的な発展に期待が持たれます。

## ひと 育み、学び、認め合う「人材」育成都市

未来を築く「ひと」づくりの基本は、次代を担う子どもたちです。この考えに基づき、本市では国に先駆けて、就学前の子ども・子育てを一体的に支援するために「子ども未来部」を平成20年に創設しました。近年、子育てを取り巻く環境が著しく変化中、相談体制の整備・充実や福祉医療費制度の見直しなど、安心して妊娠、出産、子育てができるよう切れ目のない支援に取り組んでまいりました。

教育では、食育の推進を図るために中学校の完全給食を実施しました。また、「スマート・スクール・SASEBO構想」を策定し、創造性や社会性といった「生き抜く力」を身に付ける取り組みを進めています。さらに学校再編に着手するとともに、新たな3学期制に移行しました。

「ひと」づくりは活力ある持続可能な社会を構築していくための原動力であり、未来を担う子どもたちが安心して暮らし学ぶことができる環境整備に努めてきました。

## まち 西九州をけん引する創造都市

人口減少社会に対応した都市機能の維持・向上を目指し、拠点を中心としたまちづくりを進め、地域公共交通との連携などによってコンパクト・プラス・ネットワーク型の社会の構築にも取り組んできました。また、西九州自動車道4車線化や東彼杵道路の計画推進等の広域道路ネットワークの整備を進めるなど、市民の安全・安心で快適な生活の確保にも努めてまいりました。

さらに、佐世保らしいみなとまちを目指した「三浦地区みなとまちづくり計画」の推進や、観光公園等の整備を行った「俵ヶ浦半島開発」、Park-PFIを活用し中央公園リニューアル等を行った「名切地区再整備」、東アジアとの地理的優位性や周辺の豊富な観光資源に着目した「クルーズ船入港体制整備」を進めるなど、地域資源を活用したまちづくりを推進してまいりました。特に、クルーズ船入港体制整備では、三浦地区での佐世保港国際ターミナルの供用開始や大型クルーズ船受け入れのための岸壁の延伸、浦頭地区での国際クルーズ拠点の整備など、未来を見据えた佐世保らしい「まち」づくりを着実に進めることができたものと考えています。

## くらし 地域が社会を築く安心都市

誰もが生き生きと活躍できる魅力的な暮らしのあるまちを実現するため、地区自治協議会の設立支援や「佐世保市地域コミュニティ活性化推進条例」の制定、公立公民館のコミュニティセンター化など、地域の絆を強化するための基盤づくりを進めてまいりました。

また、医療・介護などの支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を構築しました。さらに柔軟な経営や必要な人材の確保等が可能となるよう佐世保市立総合病院を地方独立行政法人へと移行しました。

近年、激甚化・頻発化している災害に対しても、防災行政無線のデジタル化や戸別受信機の配付、住民参加型の地域型防災訓練など、安全確保に万全を期す取り組みを進めてまいりました。

安全・安心な暮らしは市民生活の根幹であり、地域内で支え合える互助・共助のための取り組みや防災体制の強化などを推進してまいりました。

## 経営 その他の主要な取り組み

大きく時代が変化していく中、官民の共同出資による自治体新電力会社「株式会社西九州させばパワーズ」を設立するなどの新たな手法を取り入れ、自治体が抱える課題などへの解決に取り組んでまいりました。近年では、行政にもDX化の波が及んでおり、他都市に先駆けて「佐世保市DX戦略」を策定し、オンライン申請の拡充やキャッシュレス決済の導入など、行政サービスの利便性の向上を図るとともに、行政内部の

DX化を推進し、さらなる市民サービスの向上に努めているところです。また、農水産物や観光商品などの地場産品を返礼品として活用する、ふるさと納税にも積極的に取り組んでまいりました。

## 課題 石木ダム建設事業・基地政策

本市の最重要課題である石木ダム建設事業は、慢性的な水源不足に悩み続ける本市の唯一の抜本的解決策であり、長崎県を中心に地元川棚町と連携し、建設促進に取り組んでまいりました。これまでに事業認定や用地取得の手続きを完了させ、現在、付替道路やダム本体の工事が進められています。市民生活の基礎である水の安定供給は行政が果たすべき重要な役割であり、二度と濁水を繰り返さないためにも、次の新しい体制へとスムーズに引き継げるよう取り組んでいきます。

基地政策については、「基地との共存共生」を基本姿勢とし、国に佐世保港のすみ分けの早期実現に向けて要望を続け、その結果、赤崎貯油所の一部や立神港区の一部などの返還が完了しました。また、崎辺地区では、陸上自衛隊崎辺分屯地の開設や海上自衛隊の大規模係留施設などの整備が開始され、本市でも周辺環境を改善する前崎崎辺道路の整備を進めています。さらに、令和4年に「佐世保市基地政策方針」を策定し、市民と基地が調和したまちづくりを進めているところです。一方で、日米合意から12年が経過する中、目に見える進捗がない前畑弾薬庫の移転・返還については、引き続き国に対して強く働き掛けてまいります。



## 新時代に対応したまちづくりへの道筋

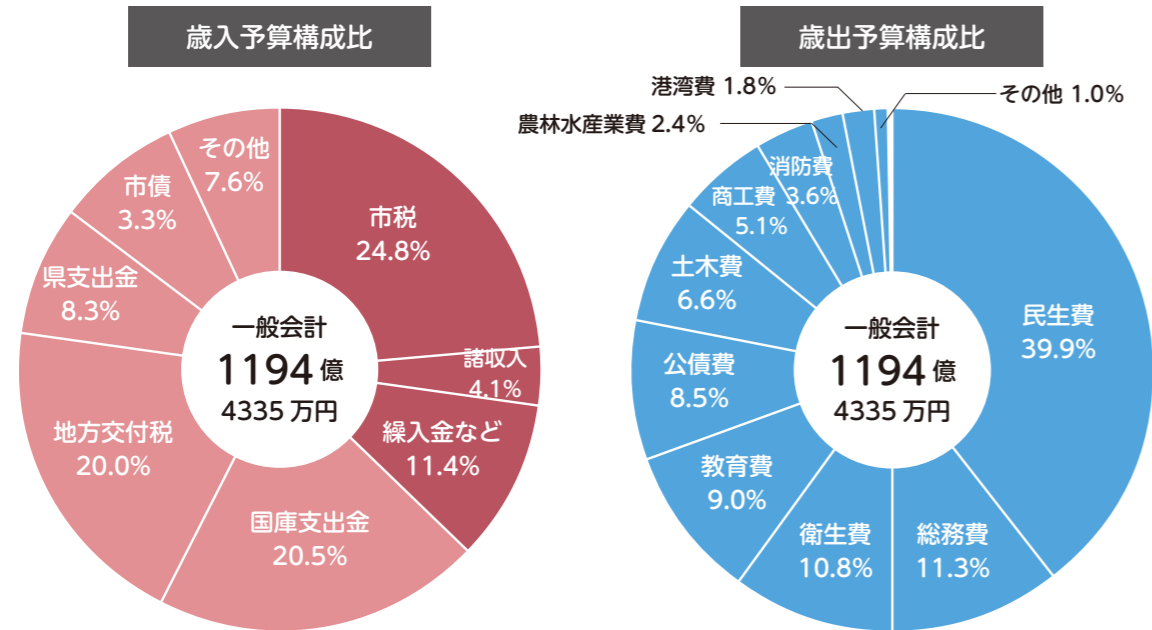
市長として、ただひたすら全力投球で市政運営に取り組んでまいりましたが、4期16年の市長の重責を支えたのは「佐世保が大好きだ」という思いでした。

市民の皆さまと共に新しい佐世保をつくっていきたくと考え、さまざまな取り組みを進めてまいりましたが、そのどれもが初めは小さな種であり挑戦でした。「進化し続ける市政」として「挑戦の先の進化」を信じて、市民や議員の皆さまからご意見などをいただきながら、着実に歩みを進めてまいりました。

まちづくりに終わりはありません。終わりなく紡がれていく歴史の中で、市長として果たすべき役割は「佐世保の街」を未来の世代へ自信を持って受け渡していくことだと考えています。リーディングプロジェクトを含む取り組みは、これからの50年、100年先の佐世保のまちづくりの基礎をつくり、また、未来の佐世保が全世界から注目されるようなまちにしたいと思いで推進してきたものです。

このように、佐世保市長として「新時代に対応したまちづくりへの道筋」を付けることができたのではないかと考えています。

■ 自主財源(自主的に収入できる財源) 40.3%  
 ■ 依存財源(国や県から交付される財源など) 59.7%



令和5年度一般会計当初予算は、改選期であるため「骨格予算」としつつも、通年における財源調整をした上で、年間総合予算として編成を行いました。

令和5年度は、第7次総合計画の前期計画における最終年度です。目標達成に向けた総仕上げに取り組んでいくことから、8つのリーディングプロジェクトに予算を計上するとともに、ウィズコロナの新しい社会実現を目指す施策展開として、既存の行政サービスに固執することなく、行政サービスや行政の在り方そのものに対する変革の視点を持ち、着実に実行に移していくことが必要不可欠です。また「佐世保市DX戦略」に基づく、ポストコロナ(DX戦略)関連事業に取り組むことに加え、地域社会再生事業(GX施策関連)も実施することとしています。

令和5年度予算編成においては、8つのリーディングプ

ロジェクトの着実な進捗、コロナ禍におけるエネルギー等物価高騰対策などが必要となります。そのような中、サンセット方式による3年ごとの一見査定を行い「ムリ・ムダ・ムラ」の排除や「選択と集中」を徹底し、改革改善を行いました。歳出面の改革改善では事業費ベースで約16億円、一般財源ベースで約12億円の効果を生み出しました。歳入面では、約10億円の改革改善効果を生んでおり、基金の活用や、競輪事業からの繰り入れなどの財源を有効に投資し、地域の活性化に活用することとしています。  
 ※骨格予算=選挙時期などの関係で政策的な判断ができていないことによって、必要最小限度の経費を計上する予算。  
 ※GX=グリーントランスフォーメーション。脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた、経済社会システム全体の革新。

令和5年度の主な事業

8つのリーディングプロジェクト

8つのリーディングプロジェクトに関連する28事業に33億2290万円を計上しました。  
 ※詳しくは本紙5ページでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症等経済対策

「社会経済の環境変化に対応しさらなる発展を目指す施策展開」を基本方針とした経済対策として、交付金を活用する6事業に、2億5133万円を計上しました。

主な予算の内訳

- レンタカー観光利用促進キャンペーン 1500万円
- リーガルウェディング推進 247万円
- 地域通貨発行事業 4780万円
- 学校給食費管理事業 1億3868万円 など

佐世保市DX戦略

「まちづくり」政策や行政経営における12分野を定め、4億2611万円を計上しました。

主な予算の内訳

- 災害情報共有システム 7181万円
- 便利市役所推進(オンライン申請、キャッシュレス) 748万円 など

地域社会再生事業(GX施策関連)

2050年のカーボンニュートラル社会の実現を目指し、6776万円を計上しました。

主な予算の内訳

- ブルーカーボン・オフセット事業 676万円
- 港湾計画促進事業 2500万円 など

クルーズ船入港体制整備

2億8326万円



国際クルーズの本格再開が見込まれる中で、クルーズ誘致の熾烈な地域間競争に勝ち抜き、観光の活性化に寄与するため、三浦・浦頭両地区において受け入れ体制整備・取り組みを実施します。

- クルーズ・フェスティバル・ビレッジ整備(佐世保らしさを体感できる交流広場を浦頭地区に整備) など

「世界で最も美しい湾クラブ」加盟の九十九島・世界遺産・日本遺産の活用

1億4255万円



九十九島・世界文化遺産・日本遺産の魅力を国内外に発信するとともに、関係団体等と連携し、観光資源のさらなる磨き上げに努め、観光客誘致に取り組みます。また、令和5年度は日本遺産「鎮守府・佐世保」の拠点施設となる「させば立神近代化歴史公園」の乗入口整備工事等を行います。

名切地区再整備

1億6143万円

中央公園から旧花園中学校に至る一帯に連続する公共施設のリニューアルや跡地の利活用に向けた基本的な方針である「名切地区まちづくり構想」に基づき、段階的に整備を行います。令和5年度は、長崎県警による佐世保警察署としての市民会館跡地の活用など、名切地区内の遊休資産の活用に向けた取り組みを進めます。

俵ヶ浦半島開発

9215万円

九十九島観光公園を、観光客を呼び込む新たな拠点とし、九十九島観光の周遊性向上を図ります。令和5年度は、九十九島観光公園の適切な管理などを行います。

- 動植物園移転を含めた活用策の検討
- クルーズ船観光客を含む、本格的な観光需要の回復も見据えたアクセス道路の改良

企業立地の推進

1億8981万円

製造業の受け皿として整備した佐世保相浦工業団地の早期分譲に向けて、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、立地企業5社に企業立地奨励金の交付などを行います。また、立地した企業に対するアフターフォローを行うことで、スムーズな操業開始やさらなる増設につなげ、多様な就労場の創出を図ります。

特定複合観光施設(IR)推進

2億5598万円

- IR開業に向けた取り組み等について検討・実施します。
- IR区域整備計画に記載されている市が行う施策・措置、機運醸成など
- 必要となる都市インフラ(交通対策)などの検討
- 関係団体と連携し、ギャンブル等依存症や治安悪化などの懸念事項対策の検討・実施

基地との共存共生

21億8230万円

自衛隊による崎辺地区の利活用に向けた整備が進む中、大黒・天神地区における狭い既存道路の交通環境を抜本的に改善するため、本市中心部と崎辺地区を直結する基幹道路として、前畑崎辺道路の整備を進めています。令和5年度は新たに7工事を実施予定です。

英語が話せる街 佐世保

1542万円

佐世保に住めば英語が身に付くという新たなまちの魅力づくりに官民連携で取り組みます。小学生を対象に、グローバル社会で活躍できる次世代リーダーへの第一歩に挑戦するグローバルキッズ・チャレンジ事業に取り組む「英語シャワー事業」などを実施します。

### 水産センター機能強化事業

3億5111万円

高付加価値種苗の研究開発による養殖漁業の振興や連携市町を含めた栽培漁業の拠点的作用を担うための施設整備を行います。

### 福祉医療支給事業(高校生世代への拡充)

7億1633万円



福祉医療費助成対象範囲を高校生世代まで拡充します。

- 対象 令和5年4月診療分から
- 申請受付 令和5年10月から  
※令和5年4月～9月診療分は遡及申請。
- 支給方式 償還払い方式

### みなとオアシスさせば協議会負担金

1000万円



佐世保港が令和4年11月26日に「みなとオアシス」に登録されたことに伴い、さらなるにぎわい創出のため、イルミネーション等のイベントを行います。

### 重層的支援体制整備推進事業

1861万円

既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを生かし、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応できないような「地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築します。

### 市史編さん事業(佐世保市125年史(仮称)の発刊)

952万円

主に100年史以降の市史をまとめた125年史を、市制125周年となる令和9年度に発刊するもの。行政活動や社会経済状況の変遷をまとめた「行政の活動記録」としての編さんを予定。

### 戦略産業推進プロジェクト

(デジタル人材育成事業)

345万円

市内企業等と連携して、地域のDX推進に不可欠なデジタル人材の育成や就職支援を行います。

### 針尾送信所保存整備事業

1億435万円



施設の適切な管理運営を行いながら、国指定重要文化財の長期的な保存を目的として、令和4年12月から実施している保存調査を継続して行います。

### 自動二輪車等駐車場整備事業

(自転車等駐車施策検討業務)

1017万円



放置自転車等の実態や駐輪・駐車の特性を踏まえ、自転車等放置車両の対策や施設の有料化の検討など、本市での駐車ニーズに応じた自転車等駐車施策の検討業務を行います。

### 盛土基礎調査業務

2407万円

静岡県熱海市で盛土が崩落し、甚大な人的・物的被害が生じたことを受け、現行法が見直されました。新しい法律では規制区域を指定することが義務付けられているため、区域指定のための基礎調査を行います。

### 宇久地域振興経費

(宇久地域づくり創出事業)

830万円

人口減少、少子高齢化が著しい「宇久地域(宇久島・寺島)」において、本市と地元まちおこし団体「宇久島離島活性化協議会」が協働し、長崎県立大学などとの連携・支援によって、宇久地域の持続化に向けたアクションプランの策定や地域の魅力創出に取り組みます。

### 選挙に関するお知らせ

4月9日(日)は長崎県議会議員一般選挙、4月23日(日)は佐世保市長選挙・佐世保市議会議員一般選挙の投票日です。投票日に用事などがある人は、期日前投票をしましょう。

#### 期日前投票の受付場所と期間

受付場所	受付期間		受付時間
	長崎県議会議員選挙	佐世保市長選挙 佐世保市議会議員選挙	
佐世保市役所(1階イベントホール)	4月1日(土) ～8日(土)	4月17日(月) ～22日(土)	8時30分～20時
まちなかコミュニティセンター			10時～19時
イオン佐世保白岳店	4月3日(月) ～8日(土)	4月17日(月) ～21日(金)	10時～18時
早岐・相浦・大野・吉井・江迎地区コミュニティセンター			9時～17時
宇久行政センター	4月8日(土)	4月22日(土)	7時～18時
宇久地区コミュニティセンター神浦分館	4月5日(水) ～7日(金)	4月19日(水) ～21日(金)	10時～18時
黒島地区コミュニティセンター			

**当日の投票** 投票日当日は指定の投票所でのみ投票できません。投票所整理券か市ホームページでご確認ください。

**選挙公報** 候補者の政見や経歴などを掲載した選挙公報は、新聞折り込みで届けます。新聞を購読していない世帯には直接郵送しますので、選挙管理委員会事務局に連絡してください。市役所、各地区コミュニティセンター、市ホームページにも設置・掲載します。



県ホームページ  
(長崎県議会議員選挙)



市ホームページ  
(佐世保市長・佐世保市議会議員選挙)

選挙管理委員会事務局 ☎ 24-1111

### コミュニティセンターにフリーWi-Fiとインターネット予約を導入

#### 3月1日(水)からフリーWi-Fiのサービス提供開始

お手持ちのスマートフォンやタブレット等から無料でインターネットが利用できるようになりました。  
場所 全28カ所のコミュニティセンター(各2～4部屋)  
内容 1回の接続で最大60分まで利用可能で、何回でも接続することができます

対象 全28カ所のコミュニティセンター

申込 ・3人以上の団体は、使用予定日の2カ月前から10日前まで利用申し込みができます  
・利用者登録が必要ですので、コミュニティセンターの窓口で手続きしてください  
※2人以下の場合は、インターネットでの予約はできません。

#### 3月1日(水)からインターネット予約の受け付け開始

公共施設予約システムでコミュニティセンターの予約ができるようになりました。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

コミュニティ・協働推進課 ☎ 24-1111